

化学工業日報社、UBMジャパンなどが主催する「国際医薬品原料・中間体展(CPhI Japan2015)」が4月22～24日、東京ビッグサイトで開催される。同展を中心に機器・装置、バイオ医薬品分野など5つの専門展が併催される製薬業界向け総合展示会として定着。今年からはUBM社が開催している医療機器開発のための5つの展示会とともに、新たに「ジャパン ライフサイエンスウィーク2015」と命名し、ライフサイエンス産業を包括する国際展示会として展開する。10を数える専門展示会の相乗効果により、同ウィーク期間中に4万人を超える来場者を見込んでいる。

02年にスタートしたCPhI Japanは着実に規模を拡大。併催展「バイオファーマジャパ」は「製薬業界受託サービス(Biopharm Japan)」、またドラッグデバイス(ICSE Japan)、「原薬・中間体 機器/装置展(PMEC Japan)」「ファーマテックジャパ

「ジャパン ライフサイエンスウィーク」

新たな一大イベントに

CPhI Japan 2015

東京ビッグサイトで4月22～24日

化学工業日報社など主催

「は今回から「Innovation Pack Japan (DDS・パッケージングイノベーションジャパン)」に名称を変更し刷新される。

CPhIをはじめとする5展示会には、製薬メーカーや医薬品受託製造業を中心に世界中から研究・開発部門などの担当者多数来場。新たなビジネスパートナーや医薬品製造サプライヤーの発掘、商談の機会として活

用されている。昨年は過去最高の1万7000人



◀ 昨年の会場風景

超が来場した。出展社プレゼンテーションのほか、プロセス化学や再生医療、製剤技術などに関する150超のセミナーを予定している。新企画として初日には、製薬業界で働く女性

達のネットワークづくりを応援する新企画「CPHI Woman」も行われる。今回は世界約30カ国・地域から約500社の出展を見込んでいる。とくに海外企業の出展が多数を占め、世界中から最新の製品・技術・サービスが日本市場に紹介される。シネリック医薬品の使用促進が進むなか、中国やインド、韓国の原薬メーカーの出展が増えているという。

CPhI Japanと同期内に東ホールで開かれる医療機器開発関連の5展示会は、医療機器設計・製造関連の「MEC Japan」、

医療用エレクトロニクス展「Electro Med Japan」、医療・ICT・在宅医療展「Smart Health Japan」、検査キット完成品&開発展「Test Kit Japan」、介護・福祉ロボット開発展「Care Welfare Robot Expo Japan」。製薬分野と医療・介護・福祉分野に関する10の国際展示会の同時開催はライフサイエンス業界の一大イベントとして注目される。

CPhI関連の詳細は化学工業日報社ホームページ (<http://www.kakakuorip.com>) 参照。

